

新人事賃金制度見直しユニオンが早々と妥結

「大きな前進」？馬鹿を言うな！

ユニオンは6月25日新人事賃金制度見直しを早々と妥結した。なぜか国労も同じ日に妥結したという。

ユニオン中央執行委員会の見解によれば、会社の新人事賃金制度見直しはユニオン提言と方向性が一致する「大きな前進」であり「最大限の姿勢で応えたもの」だと歯の浮くような賞賛の言葉が並んでいる。

確かにユニオンは、特勤手当のかわりの職務手当新設と割増賃金増額で支給額は「1000円」増加するとか、「生涯賃金は変わらない」とか、60歳以降の賃金は「500万円アップ」とか、会社の説明を何も問題にしないで大宣伝してきた。馬鹿を言うな！

「生涯賃金は変わらない」？不公平・不透明な人事制度のもとでいまだに主任にもなれない社員がたくさんいるのではないか。「生涯賃金はかわらない」というのは昇進差別がまかりとおる現実はかわらないという意味である。

手当と割増賃金が「1000円」増加！しかしたったの千円である。しかも勤務日数など条件を変えて比較すればそれも怪しいものである。今後は労働強化がいくら進んでも職務手当は変わらないのだ。「500万円アップ」！？は「大きな前進か」？60才以降の賃金が75%に減額されることこそが問題なのだ。これまでは会社提案で比較しても500万円も少ない給料で働かされていたのだ。100%支給するのが当然ではないか。

そして妥結と同時に「今後も～労使で真摯に議論を」などとわざわざ確認をしている。あらかじめ問題が発生して組合員から不満が出ることを想定しているのである。

ユニオン組合員の皆さん。ユニオン役員のいいわけとごまかしを許さず声を上げよう。